

浜郷地区

津波緊急避難方法

※ 平成23年度三重県津波浸水予測 (M9.0)

- 浜郷地区に予測される最大津波高
8 m
- 予想される最大津波到達時間
約100分

◎ 津波の特徴

- 津波は、繰り返しおそってくる。
- 第一波が最大とは限らない。
- 引き波に注意。
- 揺れの大きさと津波高は比例しない。
- 津波は、川をさかのぼる。

■ 避難方法（率先避難が基本！）

- 大きな揺れや長い揺れを感じたら、まず身の安全確保
- 隣・近所、声をかけあい率先避難
- 一人で逃げられない人はみんなで支援。ただし、無理はせず、時間がない場合は、即避難
- 車やバイクは使用しない
- 逃げ遅れた場合は、近くの高台へ避難
- 安否確認は、避難所で
- 津波警報が解除されるまでは、戻らない

■ 事前にやっておくべきこと

- 防災マップをよく見ておく
- 日頃から、家族などでタウンウォッチを行い、避難ルートを複数考えておく
- 近所の人たちと、どこへ逃げるかよく話し合っておく
- 家具の転倒防止や家の耐震化など、自分でやれることはやっておく

家族でタウンウォッチを実施しよう！

※タウンウォッチとは

タウンウォッチングとは、みんなで自分たちの町を見て歩き、災害が起こったとき危険な場所や物、または役立つ場所や物などを調べることです。
地域で災害が発生したことをイメージしながら実際に町を見て歩くことで新たな発見ができます。
また、みんなで話し合いながら町を見て歩くことで共通の災害対策への理解が得られます。
タウンウォッチング後に防災マップを作成すると、より地域への理解が深まるでしょう。
裏面の津波防災マップにタウンウォッチの結果を書き込みましょう。

以下のものはタウンウォッチングや防災マップ作成のときにチェックすべきポイントです。
これをもとに、タウンウォッチング中にメモを取ったり、写真を撮影したりして防災マップに書き込んだりして下さい。

1) 地震発生時に危険なところ ● [赤]

- ・ 倒壊の恐れのある建物、亀裂の入ったブロック塀
- ・ 固定されていない自動販売機
- ・ 落下してきそうな看板、トランス
- ・ LPGボンベのような危険物
- ・ 路上駐車車両
- ・ ガラス張りのショーウィンドウ
- ・ 固定されていないクーラーの室外機
- ・ 段差のある道路

2) 消火活動などを行う機材のあるところ ● [青]

- ・ 消火栓、消火器、防火水槽
- ・ 防火倉庫

3) 一時的に避難できる場所 ● [緑]

- ・ 駐車場
- ・ 空き地
- ・ 公園(水道、トイレの有無も調べる)



防災マップ作成で大切なのは、防災マップを作ったことに安心せず、タウンウォッチングを継続し、変化する町に合わせて防災マップを直していくこと、そしてそれをみんなで共有することです。

「津波は逃げるが勝ち！」
揺れてから5分で逃げれば被災者ゼロ！